

優しい風の吹く街

北野さと子の市政レポート



第7号

2005年1月1日発行

新しい年がスタートしました。

2004年の宝塚市議会は、予算修正案可決後の市長による再議や教育長人事をめぐる発言問題と議会空転等、多くの課題を抱え進んできました。私自身も悩みながらの議員活動ですが、どんな時も子どもたちや弱い立場の人々の人権尊重を最優先に考え行動していきます。

活動報告（抜粋）



10/4 本岡昭次前参議院副議長の「子どもの権利条約と教育」講演にて



10/23 兵庫県民大学教育講座で講演



11/15 郷土史研究会 橋本関雪邸視察

- 9/26 勤労者ボランティア・フォーラム（滋賀）
- 10/ 3 男女共同参画フェスティバル
 - 5 子育て・教育・高齢社会問題特別委員会
 - 9 ピースアクション in たからづか
 - 17 部落解放第25回兵庫県集会
 - 25 臨時市議会
 - 26 宝塚市退職教職員会の会 秋の催し（岡山）
 - 27 宝塚市戦没者追悼式
 - 31 伊丹朝鮮初級学校公開授業
- 11/ 6 民主党兵庫県連常任幹事会
 - 7 たからづか民族まつり
 - 11 子ども施策推進議員連盟協議会
 - 16 子育て・教育・高齢社会問題特別委員会
 - 19 冒険遊び場全国研究集会（神戸）
 - 23 宝塚音楽回廊
 - 25 日本民主教育政治連盟自治体議員団会議（東京）
 - 28 わかば奨学金募金活動
- 11/30～12/21 12月定例市議会
- 12/11 連合兵庫もちつきフェア
- 12 民主党兵庫県連大会



10/22 武田尾災害復旧ボランティア

自分にできること

朝刊に「武田尾被災住宅復旧を手伝って」という記事が載っていました。必死で長靴をさがしだして・・・初めてのボランティア活動に参加しました。

泥を洗い出し、家具や家財道具、濡れた衣服布団など運び出しました。小さな力ですが、こんな時に一番大切なのは「人の心と力」だと、阪神大震災で学んだ私たちです。

台風・地震の被害によって亡くなられた方、被害を受けられた方々に、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

1. 23号台風における住民の避難の実態と課題 について

地域での災害弱者の把握はできていたのか被災者への生活復旧支援や心のケアについて。
新たな防災教育について

要望

安否確認システムの確立など、災害弱者の災害時のネットワークづくり・緊急時対応マニュアル作成、新たな防災教育が急務。

市長答弁

政府の中央防災会議のガイドラインを参考に、災害弱者の避難支援策を検討していきたい。

様々な支援制度や被災者支援情報を適宜紹介・提供し、それぞれの担当科で対応していきたい。

防犯・防災メールサービスを検討準備中

2. 学校選択制・二学期制 について

学校環境施設面の整備について。
学校間格差と教育の機会均等について。
「地域が支える学校づくり」について。

要望)

導入によって「傷つく子ども」があってはならない。子どもたちは「実験の道具」ではない。

何十年という実践によって蓄積されたシステムを変えることは、慎重のうえにも慎重であるべきだと考える。

教育長答弁

厳しい財政状況の中、直ちに格差を解消する事はできないが、順次教育環境の整備を図っていきたい。

そのことは公教育において、取り組まなければならない基本的事柄であるので、今後とも審議会で十分に審議をしていただくと考えている。

地域で子どもを守り育てることは、制度の導入に関わらず大切なことなので、地域コミュニティとの関係をさらに密にし、連携を深めていきたい。

3. 次世代育成支援行動計画 について

子どもの権利の保障が十分に考えられ、盛り込まれようとしているのか。

具体的な負担軽減施策を考えて、教育不安の解消に全力をあげていく必要があると思うがどうか。

仕事と子育ての両立に向けての施策が行動計画の中心になっているのか。

市長答弁

子どもの権利保障に関しては、現在、社会福祉審議会の中で子どもの人権擁護推進が掲げられている。また、窓口の一本化については、子ども室を事務局として、子ども施策の総合調整を図っていく。

本市においても経済的負担の軽減を望む声が多く、今後とも国や県に要望していく。

男女が、ともに仕事と子育ての両立が可能となるような職場の環境づくりを推進するよう、企業に対する啓発をすすめる。

今回は次世代育成支援行動計画について、負担軽減がいかに必要か、また、日本の女性の出生率をあげるためには、仕事と子育てができる社会の仕組みと支援が必要であるということをや〜くわかってもらいたくてパネルによるプレゼンテーションを行いました。初めてのことで大変緊張しましたが、パネルづくりは授業の教材研究みたいで楽しかったです。議場にいる方々に、しっかり考えてもらうためのいい資料になったと思います。

< 市議会での一般質問 >



文教厚生常任委員会の報告

今議会に提案された「宝塚市奨学金条例」は、これまでの給付制度から、全て貸付制度へ変更するというものでした。これでは、経済的に非常に困っている子どもたちの進路を閉ざしてしまうことになります。何とか給付制度を存続させようと粘り強く働きかけ、生活保護・準要保護世帯等に対する新たな給付制度を3月議会に提案することを条件として、可決しました。

文教厚生常任委員会協議会

今、宝塚市では学校選択制・二学期制をめぐって学校改革審議会での論議が行われています。学校の活性化をめざすと言われていますが、学校間格差の拡大や地域との結びつきの希薄化など、多くの課題があります。私は自由選択や競争が行き過ぎると、弱い立場の子どもへの切り捨てにつながるのではないかと心配です。また、通学の安全面に対する不安も広がっています。今後の審議会での議論が、子ども主体で進んでいるのかを常に見守っていきたいと思っています。さらに議員全員協議会でもしっかり意見表明していきます。

議案第134号 条件付き可決
宝塚市奨学金条例の全部を改正する条例の制定について
請願第45号 採択
宝塚市の子ども施策の推進、子育て支援の充実を求める請願

その他の一般質問

- ・よりよい学校改築に向けて（長尾小）
- ・人権教育の啓発資料について
- ・マイクロバス・スクールバスのイメージアップについて

質問内容は、[H.P に掲載しています](#)

活動トピックス

三田市議会議員選挙の応援



リニューアルした宝塚温泉のレストランにて



退職教職員の会 秋の催し

2004/10/26

日本のエーゲ海～牛窓～倉敷方面へ小雨ふる中でしたが、バス2台84名で楽しいツアーとなりました。退職教職員の会に入って初めて参加しました。



<心静まる 閑谷学校>

今後の予定

1/25・26 子育て・教育・高齢社会問題
特別委員会視察（宮城県仙台市）
2/16～3/24 3月定例市議会
本会議・常任委員会・予算特別委員会

発行人 北野 さと子

連絡先

〒665-0034 宝塚市小林2丁目12-27-209

Tel&Fax 0797-73-4556

ホームページ <http://www.kitanosatoko.com/>

梶原和代議員からひわだ議員へバトンタッチ

2004/09/27

教員時代から色々ご指導いただいていた大先輩の梶原議員。今回の選挙では、選対委員長として先頭にたってみんなを引っ張ってくださいました。私の選挙のときにも誰よりも早く駆けつけて応援してくださいました。

あの阪神淡路大震災のときには、避難所となっていた宝塚第一小学校に、被災者を励ます「お餅つき」にきてくださったことも忘れられません。

教員の先輩として、議員の先輩として、そしてなにより人として・・・尊敬しています。

13年間の議員生活。議長もつとめられました。本当にお疲れさまでした。



北野さと子市政報告会

&

はげます会意見交流会

開催のお知らせ

はげます会会長 佐々木基文

2005年2月15日（火）
午後7時～

西光院（平林寺内）

宝塚市小林1-2-20

（阪急逆瀬川駅から徒歩5分）

編集後記

市政報告会を初めて行います。ぜひ皆さまのご意見をお聞かせください。よろしくお願ひします。